

令和6年度 学校運営に関するアンケート（評価）
《学校教育目標》 健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける平岡っ子の育成
～子供たちの未来を見据えた、自立して生きる力につながる教育の実践～
《基本方針》 「知」「徳」「体」のバランスのとれた子供の育成をめざす
《重点実践目標》 ◎時間をまもる ◎人を傷つけない ◎自分を傷つけない 《めざす児童像》

達成状況について アンケートのAとBを足した数を表記
(Aあてはまる Bだいたいあてはまる Cどちらかというとあてはまらない Dあてはまらない)
評価について
A・・・85%以上、B・・・84～60%、C・・・59～30、D・・・29 以下 として評価

	重点目標	質問項目（児童・保護者アンケート）		達成状況		成果と改善の方策	総合	外部評価
○よく考える子	・協同的探究学習の推進 ・さまざまな教科での研究推進 ・兵庫型学習システムの効果的な活用 ・基本的な生活習慣の確立 ・ICTの活用 ・GIGAスクール構想実現にむけた取組とクロームブックの活用推進	保	読み書き計算などの基礎学力は定着していますか。	A	88	○教師の指導力向上を図る職員研修を実施するとともに、教材研究に注力した。また、ICTの効果的な活用により、児童がわかりやすい授業を展開することができた。 ○児童は自らの課題を見つけ、個々の進度で進んで学習に取り組むことができており、個別最適化の学びにつながっている。 ▲家庭学習の定着を目指し、「家庭学習の手引き」を配布したり、家庭でのICTの活用方法を提示したりして家庭との連携を図る。 ▲児童の読書習慣定着のため、委員会活動の活性化とともに、全校一斉の読書タイムを朝学習に位置づけるなど書籍に触れる機会を増やしていく。	B	○低学年も高学年と同じように学習態度がしっかりしていた。どの学級も落ち着いて学習できていた。 ○ICT教育が浸透しており、子どもたちはタブレットを使い慣れているように感じた。 △家庭での学習環境を整えるために関係機関と協力していく必要がある。 △保護者も子どもたちとともに読書や学習に向かう時間を作れるよう具体策を提示してほしい。
		児	本を読むのはすきですか。	B	75			
		保	家庭での子どもの読書習慣は身についていますか。	C	40			
		児	家で、計画を立てて勉強していますか。	B	72			
		保	子どもは、進んで学習していますか。	B	63			
		児	学校ですすんで勉強できていますか。	A	89			
		保	子どもは、学校の授業はよくわかっていますか。	A	85			
		児	授業はわかりやすいですか。	A	95			
		保	ICT教育が推進されていると思いますか。	A	90			
		児	クロームブックを使った学習は役に立っていますか。	A	96			
○助け合う子	・道徳科学習の充実 ・生徒指導の充実 ・異学年交流の推進 ・特別支援教育の推進	保	子どもは、進んであいさつをしていますか。	B	78	○高学年が模範となり、また教職員もあいさつを励行してきたことで、学校全体にあいさつの習慣ができてきた。気持ちの良いあいさつの大切さが浸透してきた。 ○「もくもくそうじ」を推進することで丁寧な清掃活動ができています。 ▲学校で身についたあいさつの習慣が社会生活でも実行できるように、道徳科の学習等を利用して実践力を養う。	A	○異学年交流の充実により、上級生も下級生も穏やかな学校生活を送っている様子がうかがえた。特に、登校班で登校することは思いやりの心を育てる教育の場となる。子どもたちを見守っていきたい。 △あいさつは児童の心の状態を把握するのによい手立てと考えて教師も励行してほしい。
		児	先生や友だち、地域の人にあいさつをしていますか。	A	92			
		保	子どもは、思いやりの心や親かな態度が育ってきていると思いますか。	A	97			
		児	友だちと協力できていますか。	A	97			
		児	そうじの時間にいっしょうけんめいそうじをしていますか。	A	98			
		保	学校行事は適正に実施されていますか。	A	99			
子・やりぬく子	・「かがわウェルネス手帳」、県の動画サイトの活用 ・食育の推進 ・平岡っ子体力向上プログラムの実践	保	学校は子どもの健康や安全について配慮していますか。	A	98	○けがや病気の予防や保健室の利用の仕方について共通理解を図り、児童が安全・安心な学校生活を送ることができた。 ▲児童には、何事にもあきらめずに取り組む姿勢を身につけさせたい。そのためにも、児童が自らの成長を実感できる評価の在り方を研究する。	A	○基本的な生活習慣が身についており、感染症の流行も少なく、元気で健康な児童が多い。 △外で遊ぶ時間や運動量を学校生活の中で十分に確保してほしい。
		児	毎日、朝ごはんを食べていますか。	A	94			
		保	子どもは、何事もあきらめず最後までがんばっていますか。	B	82			
		児	最後まで粘り強くあきらめず、がんばれていますか。	A	88			
○安心・安全で地域とともにある学校	・段階的な防災訓練、防犯訓練の実施 ・「平岡小学校学校運営協議会」の充実 ・学校園連携ユニットの推進 ・学校だより、学年だよりの発行と39メールからスクリレへの移行、ホームページによる情報発信 ・「学校支援ボランティア」の活用による地域連携推進	保	子どもは、きまりを守って生活できていますか。	A	89	○規則の順守について学年集会、全校集会等で適宜、全体指導を行った。 ○毎月、校内の安全点検を実施して修繕箇所を把握し迅速に対応した。学校支援ボランティアとの連携により校地環境を整えることができています。 ○スクリレ導入で適切な情報発信ができています。 ▲防災意識の定着を目指し、先進校の取り組みを学び、学習に取り入れていく。	A	○美しい学校設備が保たれていることがすばらしい。 △学校支援ボランティアの方々の高齢化に伴い、活動が難しくなっている。平日に参加していただける方を広く募集し、ボランティア活動の伝統を守ってほしい。
		児	学校のきまりややくそくを守っていますか。	A	95			
		保	学校の環境は整備されていますか。	A	94			
		保	学校は適切に情報を発信していますか。	A	97			
○いのちを大切に 教育の推進	・「いじめ防止対策改善プログラム」の推進によるいじめの未然防止と早期発見・早期対応 ・道徳教育、人権教育の充実 ・確かな児童理解に基づいた生徒指導の推進…内面理解、情報の共有、不登校対策の徹底 ・「アセス」「教育相談」「こころの健康チェック」を活用した一人一人を大切にする学級経営の推進 ・各学年に応じた系統的な学習の実施 交通安全、インターネットトラブル防止、禁煙、防犯、薬物乱用防止の教室 ・特別支援教育・教育相談各コーディネータ、SC、SSWの積極的活用と関係機関との連携推進	保	子どもは、学校へ行くのが楽しそうですか。	A	94	○学習と生活のバランスよい教育活動ができ、児童の自己肯定感および満足感につながっている。 ○学習に集中するため、学用品や学習環境を整えることが大切であることを学校全体で共有した。家庭にも発信していきたい。 ▲学校との相談体制について、保護者や児童に周知していく。児童の心のケアについて教職員が研修を重ね、適切な手立てを図れるようにする。	A	○子どもたちは楽しく学校に通っている様子がうかがえる。皆で楽しめる学校行事を今後も計画、実施してほしい。 △保護者も子どもたちも担任以外の先生には相談がしづらいこともある。いろいろな相談体制があることを周知してほしい。
		児	学校でみんなと一緒に勉強するのは楽しいですか。	A	93			
		児	身の回りを整えることができましたか。	A	87			
		保	学校は、子どものことで相談しやすいですか。	A	91			
		児	こまったときに、先生に相談しますか。	B	80			

